

2. 市政情報の入手方法と効果的な発信について

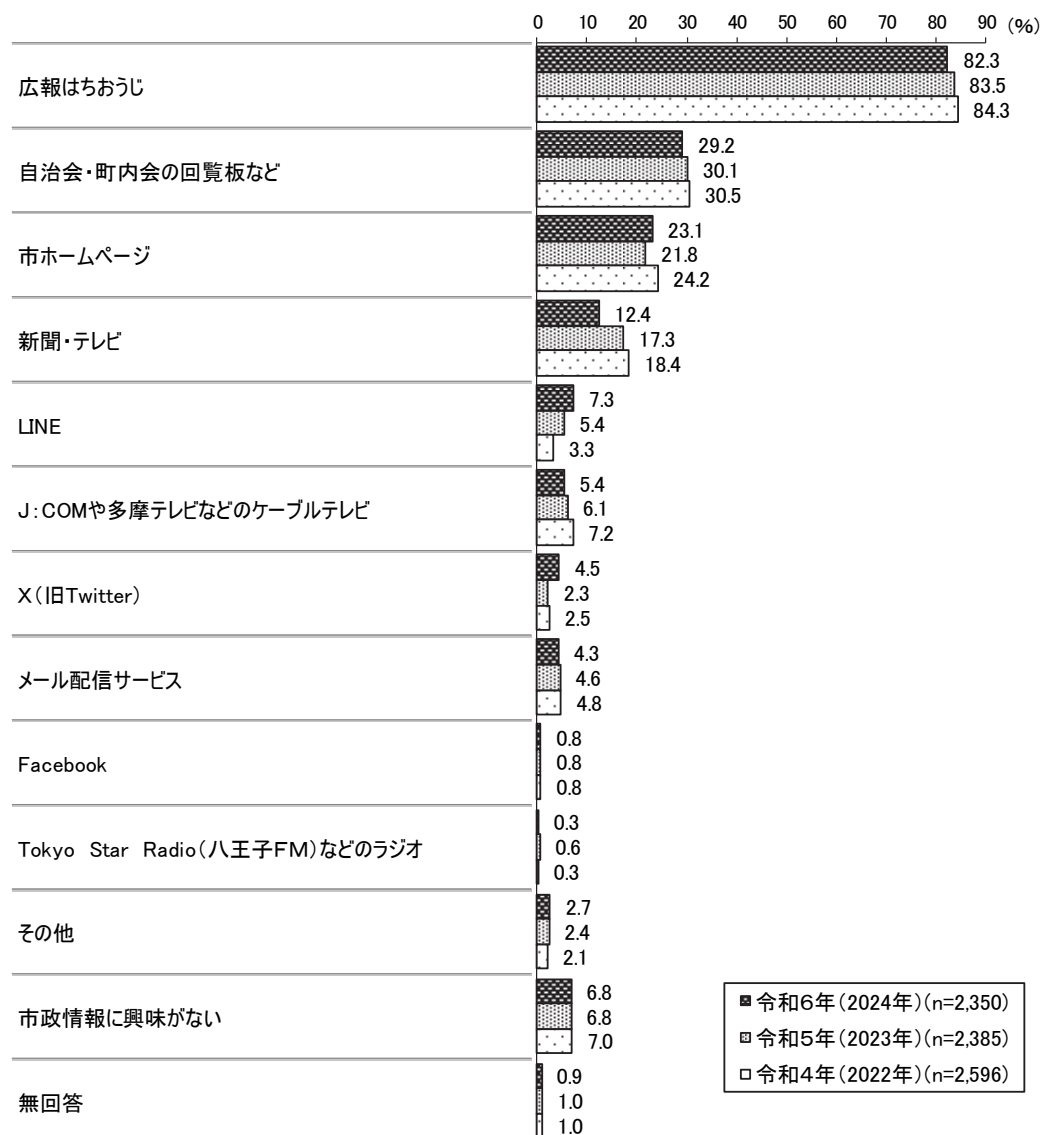
(1) 市政情報の入手方法

◇「広報はちおうじ」が8割強

問 10 あなたは、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか。

（〇はいくつでも）

図 2－1－1 市政情報の入手方法－全体、経年比較

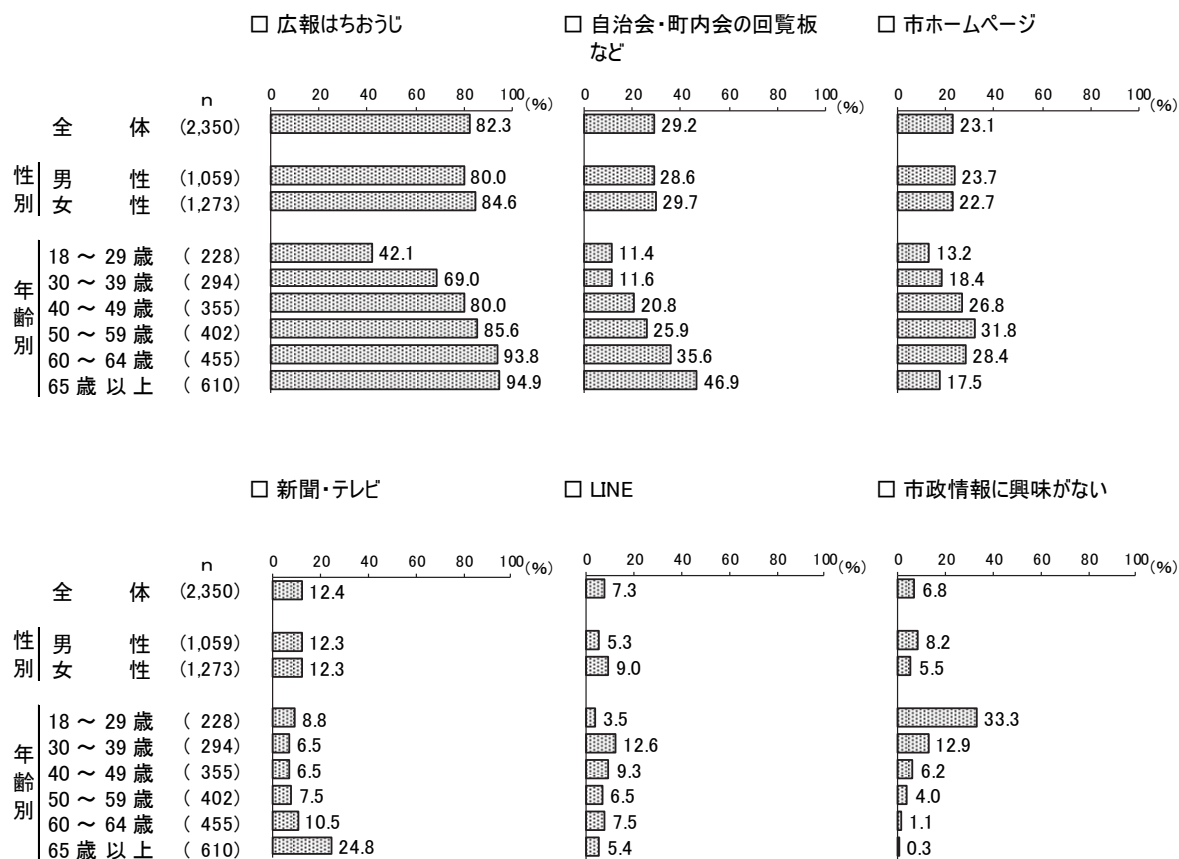


(注)「X(旧 Twitter)」は令和5年(2023年)までは「Twitter(ツイッター)」としていた。

市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ているか聞いたところ、「広報はちおうじ」（82.3%）が8割強で最も多くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板など」（29.2%）、「市のホームページ」（23.1%）などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「X(旧 Twitter)」は令和5年(2023年)(2.3%)より2.2ポイント増加している。一方、「新聞・テレビ」は令和5年(2023年)(17.3%)より4.9ポイント減少している。(図2－1－1)

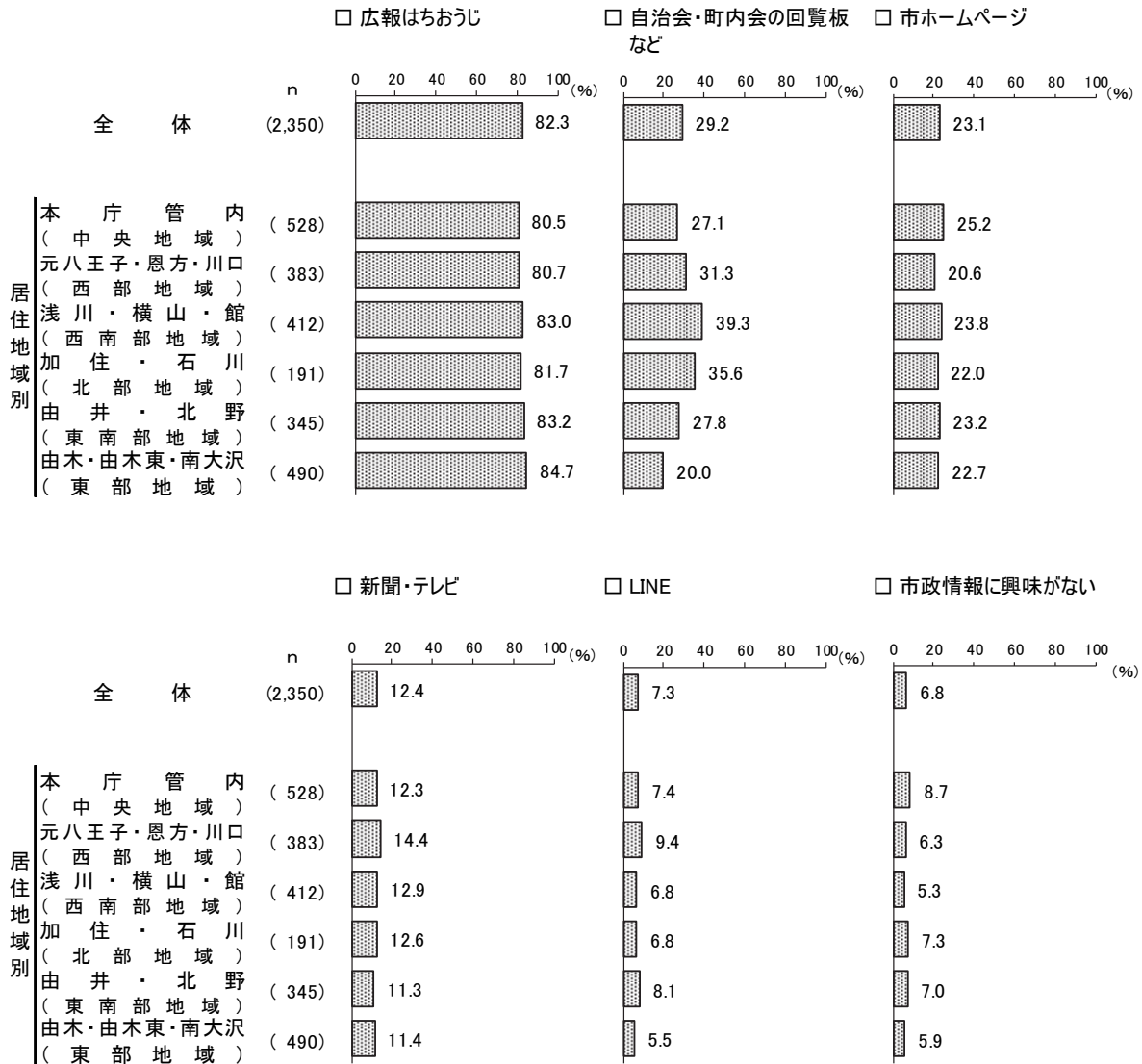
図 2-1-2 市政情報の入手方法－性別、年齢別（上位 5 項目＋「市政情報に興味がない」）



性別にみると、「広報はちおうじ」は女性（84.6％）が男性（80.0％）より 4.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65 歳以上（94.9％）で 9 割台半ばと多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は年代が高くなるほど割合が高く、65 歳以上（46.9％）で 5 割近くと多くなっている。「市政情報に興味がない」は 18～29 歳（33.3％）で 3 割強と高くなっている。（図 2-1-2）

図 2－1－3 市政情報の入手方法－居住地地域別（上位 5 項目＋「市政情報に興味がない」）



居住地地域別にみると、「広報はちおうじ」は全ての地域で8割台となっている。「自治会・町内会の回覧板など」は浅川・横山・館（西南部地域）（39.3%）で4割弱と多くなっている。

（図 2－1－3）

(2) 市の情報発信に関する意見（自由意見）

問 11 市からの情報発信について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

（自由記述）

市の情報発信に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、203 人からの回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

- もっと若い人が八王子などの政治に関心を持つ情報発信をして欲しいです。(女性 18～29 歳)
- 補助金などについてのアナウンスをもっと分かりやすくして欲しい。(女性 18～29 歳)
- L I N Eでの防犯情報の発信がリアルタイムで助かっている。ただ、改行がなくて読みにくい時がある。(女性 18～29 歳)
- Xなどで回ってきた情報で気になり、調べるために市のホームページを見に行くが、必要な情報が見つけにくかったり、分かりづらかったりすることが多い。(女性 18～29 歳)
- 育児、仕事、家事といろいろしているので、自らホームページにアクセスして情報を得る余裕がないので、「広報はちおうじ」の配布がとても助かっています。子どもにごはんを食べさせながら子どものイベント（ユニカミノルタサイエンスドーム、夕やけ小やけふれあいの里ふくむ）の情報を確認し参加しています。(女性 30～39 歳)
- 「広報はちおうじ」が私の市政情報のほとんどです。いつもありがとうございます。イベント情報などは知らないことも多く、ありがたいです。(女性 30～39 歳)
- 市のホームページから外部リンクに行くと、リンクが切れていることがたびたびある。定期的にリンク切れがないか確認した方が良い。リンク切れのチェックツールなどを活用すれば簡単にできる。(女性 30～39 歳)
- L I N Eでの発信は数が多いですが、きちんと目を通せるくらいの長すぎない文章でとても良いと思います。もっとこれからの八王子がどうなるのか未来を発信してくださると楽しみが増えて良いと思います。(女性 30～39 歳)
- イベントを行っているのに知られていないので人が集まらないケースが多いと感じます。年間スケジュールやマップ、地域別の冊子などがあると分かりやすいかもしれません。
(男性 30～39 歳)
- ペーパーレスが進んでいるが、高齢者のためには引き続き紙媒体での広報などで情報を発信して欲しい。(女性 40～49 歳)
- 地震速報が入ってこない。L I N E登録しているが、速報が入ると良い。(女性 40～49 歳)
- 市のホームページは目的ごとに項目を分けて欲しい。内容が分かりづらく、探せない。
(男性 40～49 歳)
- スピーカーによる放送は、何を言っているのか分からないので、内容をXに書くなどして欲しい。(男性 40～49 歳)
- 何でも、SNSで発信すれば良いと考えるのはいかがなものでしょう。(女性 50～59 歳)
- 「広報はちおうじ」と併用で、アプリで情報が発信されると便利です。紙ベースでの情報の発信は、継続が必要だと思います。(女性 60～64 歳)
- SNSでの発信は、即時性があって良いが、プッシュ型の配信は、読まずに消去してしまうことも多いのが現実です。重要度の高いもの（私の場合は防災・防犯の緊急性の非常に高いもの）をそれぞれ選び、配信される仕組みがあれば良いと思います。(女性 60～64 歳)
- 自分は 60 代なので、印刷物の情報収集になるが、若年層を意識するならば、デジタル配信にもっと重きを置いても良いと思う。(男性 60～64 歳)
- 「広報はちおうじ」は、大変優れた内容だと感じています。ワクチン、健康診断、休日診療、各種申請、イベント、啓蒙活動、市民活動の紹介、相談案内など、生活に必要なものを網羅し、読みやすいレイアウト、生活に必要な不可欠な大変有用な存在だと感じています。
(女性 65 歳以上)
- 「広報はちおうじ」の配布頻度は、月 1 回で良いと思います。市のホームページで随時広報していただくことを重視していただければ、十分に思います。コスト的にも。
(男性 65 歳以上)